令和７年度特別会計決算認定

～事業の執行状況の確認～

《市民福祉常任委員会》

令和７年度焼津市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 市民に対する情報発信費用の執行率が低い理由は。

A 事業で使用する冊子を庁内で印刷したことにより経費を削減できたためである。

Q 接骨院等で施術を受けた場合に支給する現金給付の件数は何件か。

A 全体で、７９２１件給付した。

令和７年度焼津市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 補聴器購入助成に当たって、機種の指定はあるか。

A 購入費の助成に当たり、機種の指定はない。

Q 要介護認定に係る訪問調査員の人数は何人か。

A 市の直営の調査員は、13名である。

Q 市の直営の調査員は、会計年度任用職員であるか。

A 全員が会計年度任用職員である。

Q 訪問調査の委託先の件数は、何件あるか。

A 県外を含む市外が29件で、市内が55件である。



《建設経済常任委員会》

令和７年度焼津市港湾事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 事業収入が減少した理由は。

A 石油などのエネルギー関連貨物が減少傾向にあるためである。

Q 港内の安全対策の実施状況は。

A 台風や地震・津波の際の対応基準を設け、船舶の航路や、船舶を横づけする岸壁の点検、修繕・改良を行うなど、適切な安全対策を行った。

令和７年度焼津市水道事業会計決算認定及び剰余金処分案

Q 令和３年の純利益は３億円余だったのに対し、令和７年度は約１億４千２百万円と、ほぼ半減となっている。５年後の水道収益をどのように見込んでいるのか。

A 行政区域内人口の減少に伴い、水道の主な収益である生活用水の料金収入は、今後も減少が見込まれる。それに対し、物価上昇、人件費上昇等により、費用は増加傾向であることから、今後も純利益の減少は避けられないと考えている。

令和７年度焼津市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定

Q 小石川駐車場、焼津駅北口駐車場の使用料収入が増えた理由は。

A ターントクルこども館や、周辺店舗の利用者増加が要因と考えている。